

平成29年度病床機能報告結果(速報値)

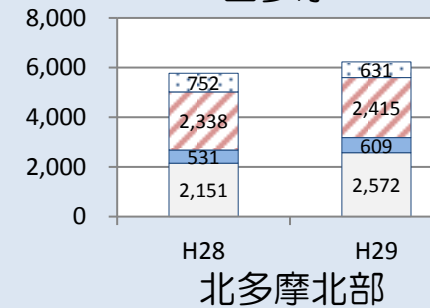
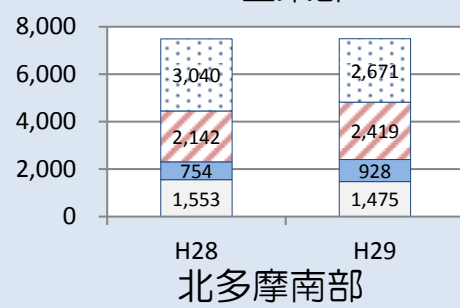
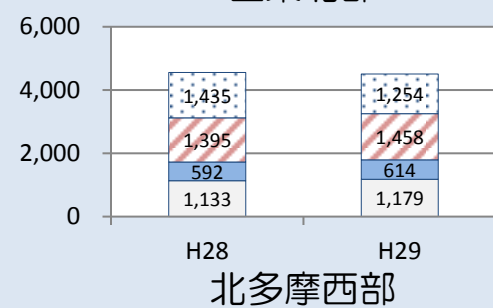
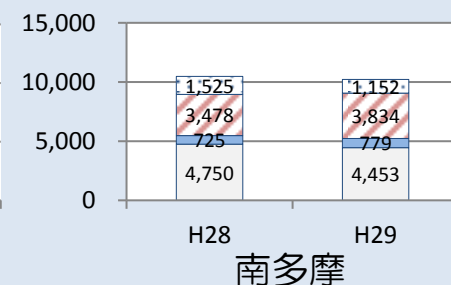
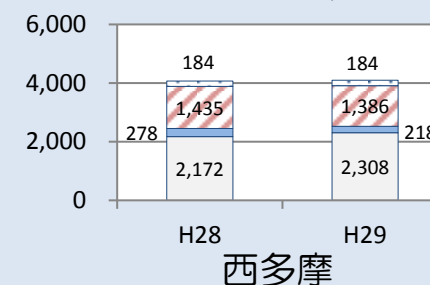
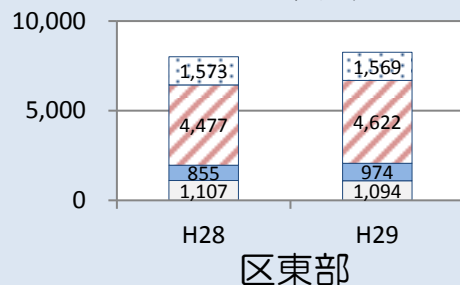
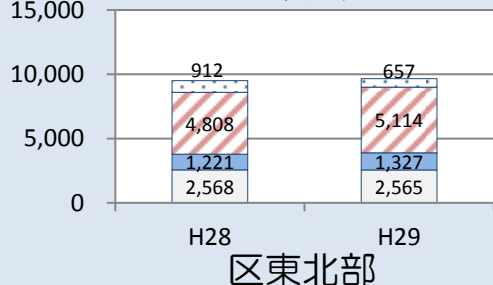
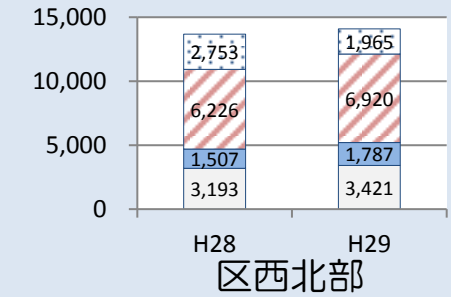
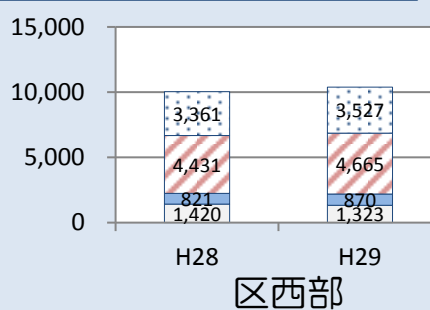
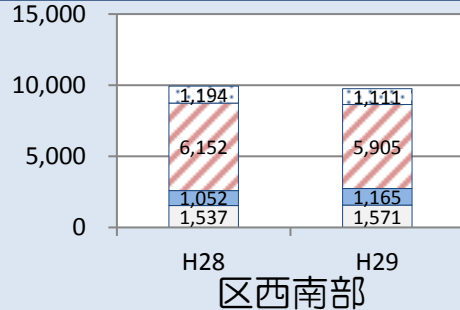
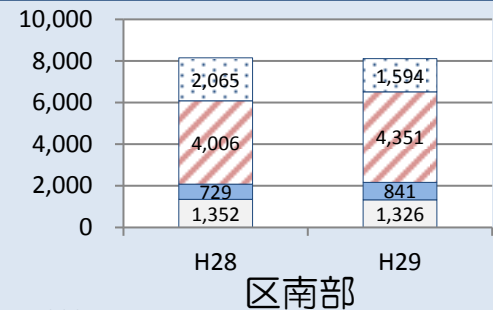
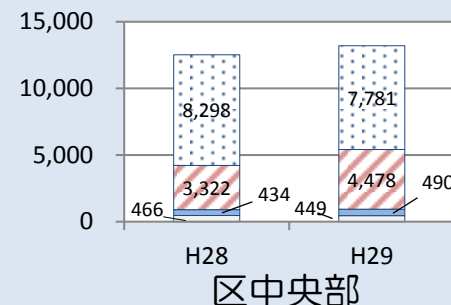
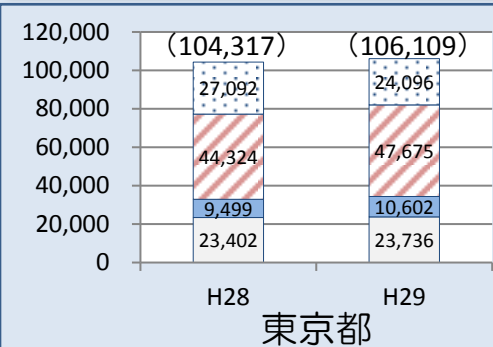
H28-29比較 <4機能別許可病床数>

凡例 □高度急性期 □急性期
 ■回復期 □慢性期

<結果の概要(東京都)>

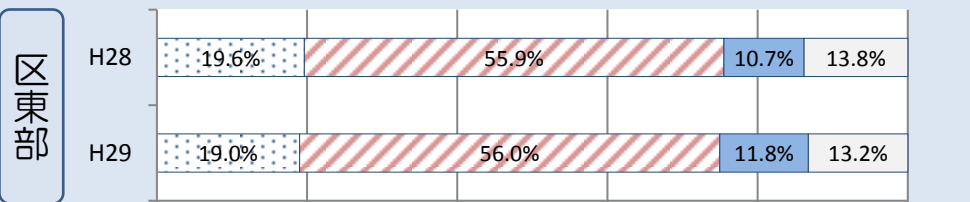
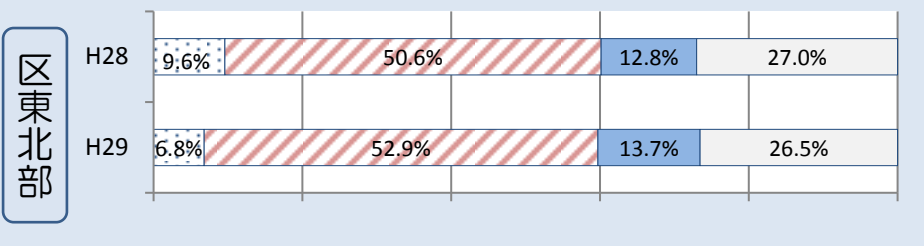
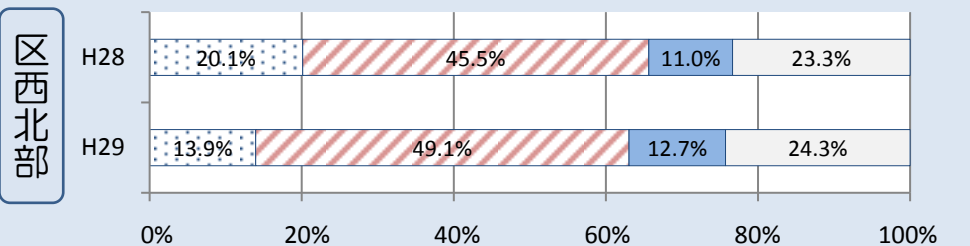
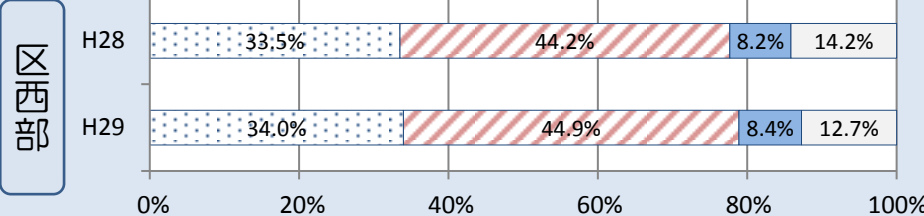
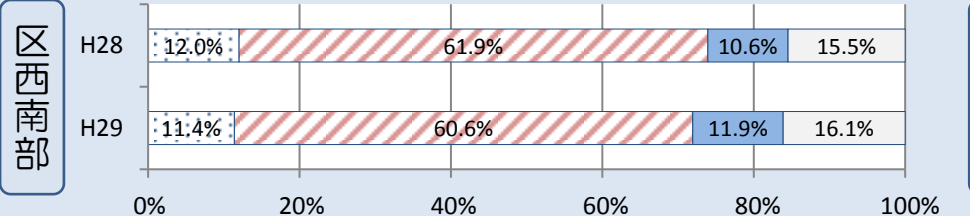
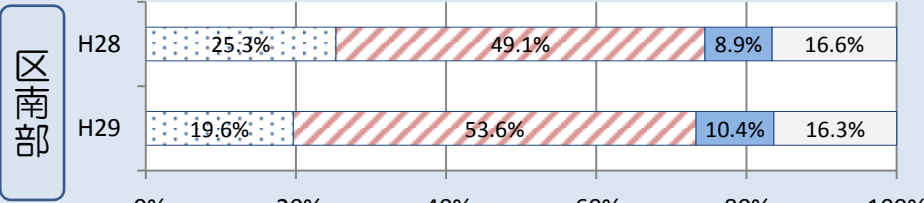
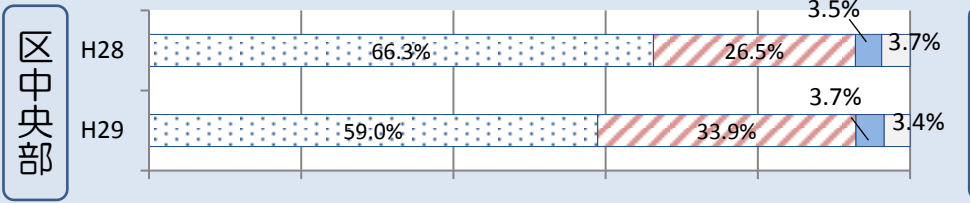
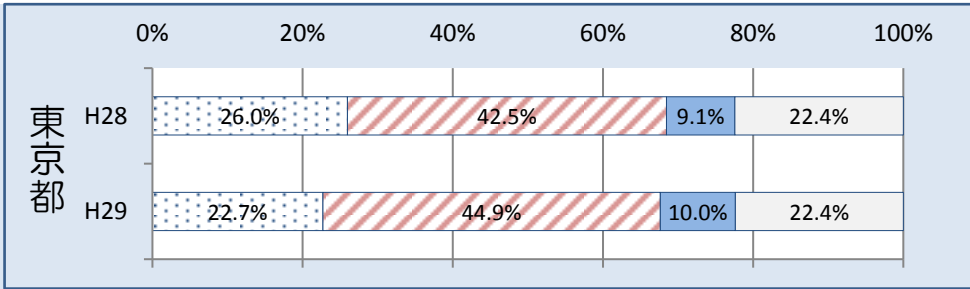
○平成28年度結果に比べ、病床数全体は、1,792床増

(機能別増減) 高度急性期機能 2,996床減
 急性期機能 3,351床増
 回復期機能 1,103床増
 慢性期機能 334床増



平成29年度病床機能報告結果(速報値)

H29-28比較 <4機能別許可病床数の割合/区部>

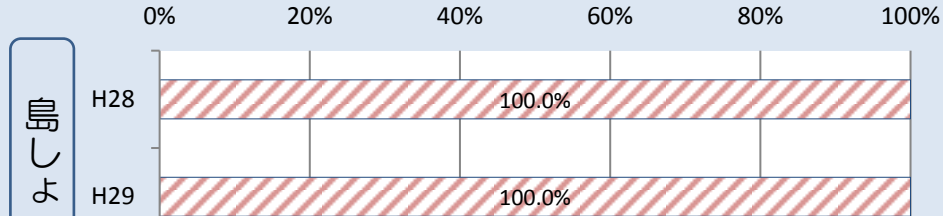
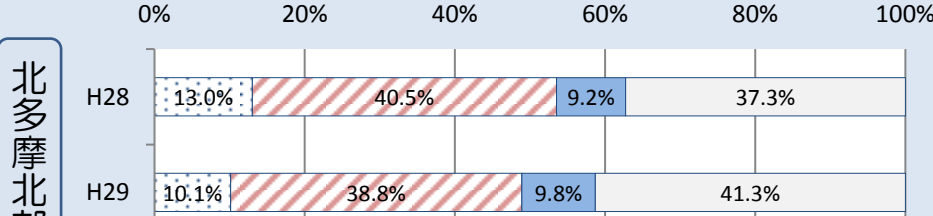
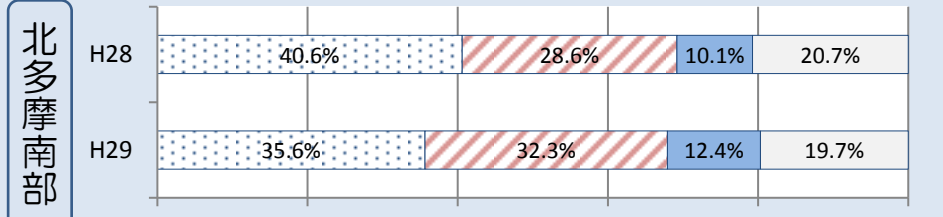
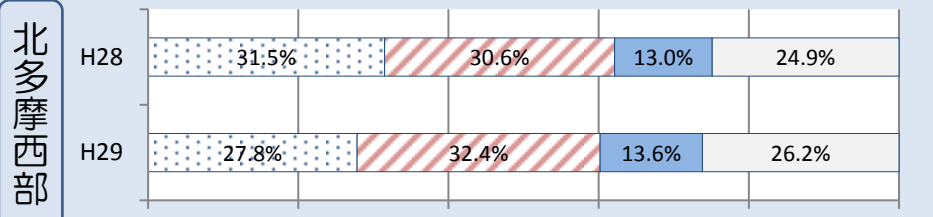
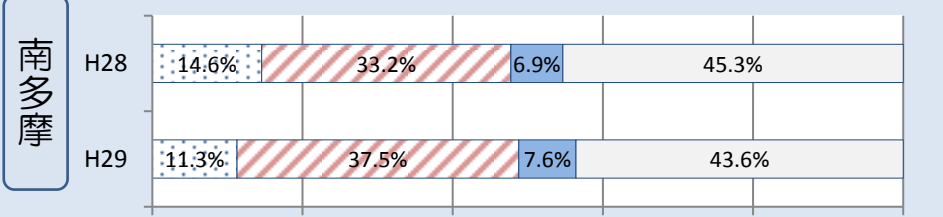
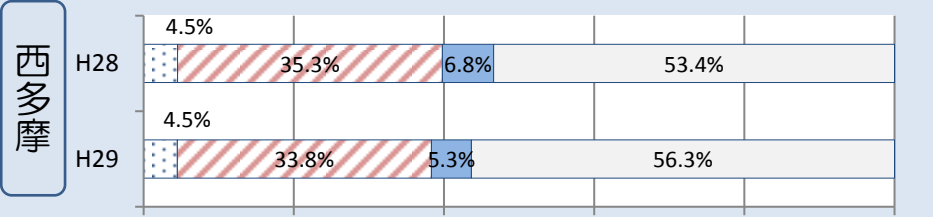


凡例

- 高度急性期
- 急性期
- 回復期
- 慢性期

平成29年度病床機能報告結果(速報値)

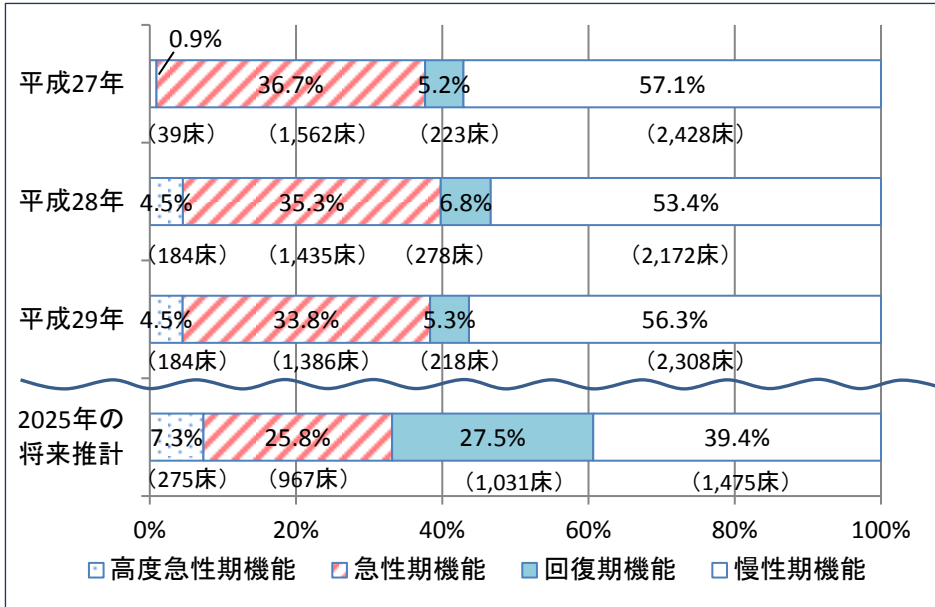
H29-28比較 <4機能別許可病床数の割合／多摩・島しょ>



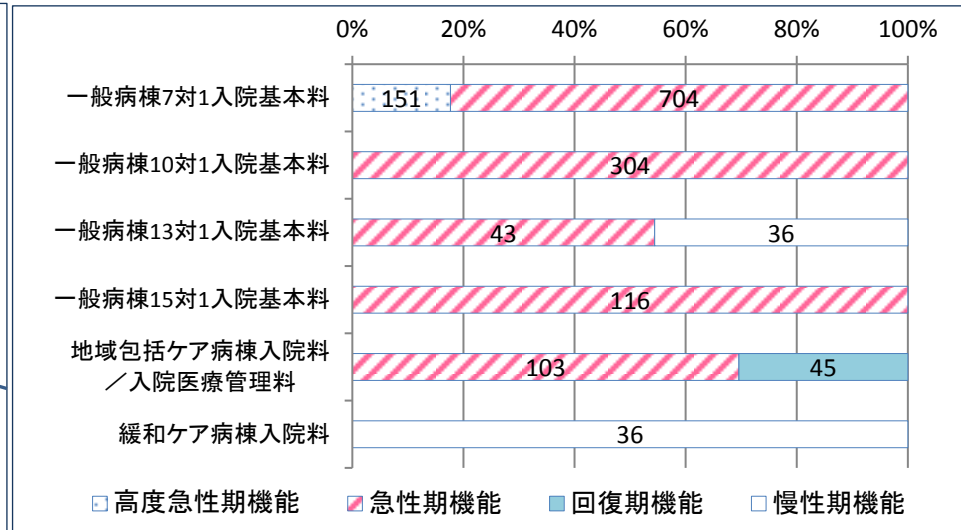
凡例

- 高度急性期 (dotted pattern)
- 急性期 (diagonal stripes)
- 回復期 (solid blue)
- 慢性期 (solid light blue)

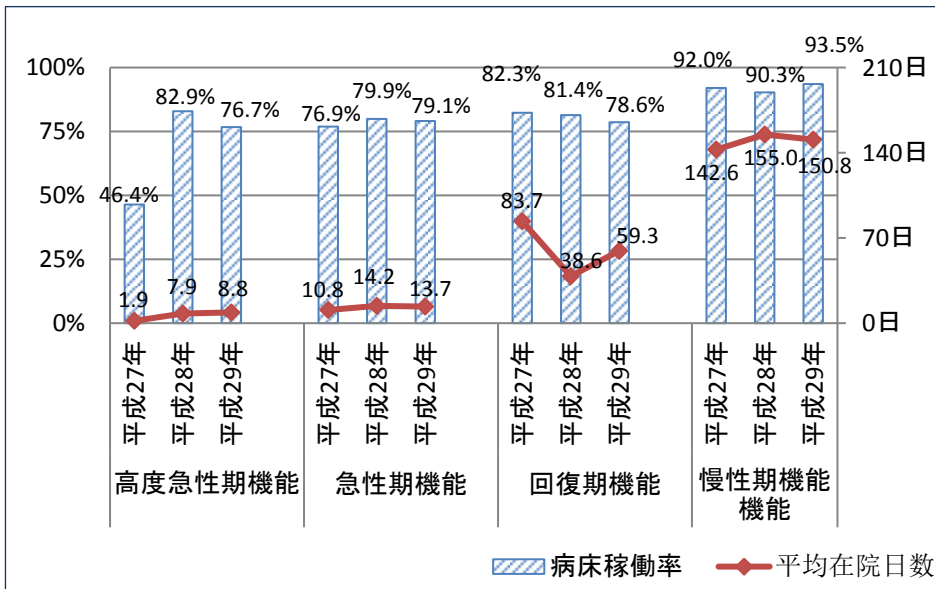
①4機能別病床数の推移(平成27年度～平成29年度)



③入院料×機能



②病床稼働率と平均在院日数の推移(平成27年度～平成29年度)



④退院後1ヶ月以内に在宅医療を必要とする患者の割合

機能	在宅医療を必要としない患者(死亡退院を含む)	自院が在宅医療を提供する予定の患者	他施設が在宅医療を提供する予定の患者	在宅医療の実施予定が不明の患者
高度急性期機能	274 (89.3%)	0 (0.0%)	26 (8.5%)	7 (2.3%)
急性期機能	1,774 (92.1%)	20 (1.0%)	100 (5.2%)	32 (1.7%)
回復期機能	40 (51.9%)	14 (18.2%)	4 (5.2%)	19 (24.7%)
慢性期機能	170 (58.8%)	43 (14.9%)	42 (14.5%)	34 (11.8%)

⑤退院調整部門を置いている病院の割合 52.4%(前年度42.9%)

- ①慢性期機能と報告された病床が半数以上を占める。
- ②慢性期機能以外で病床稼働率が下がっている。
- ③13:1病床において、慢性期機能と報告された病床が約半数を占める。地域包括ケア病棟で、急性期機能と報告された割合が高い。
- ④回復期機能で、退院後の在宅医療実施予定が不明の割合が高い。回復期・慢性期機能で、自院が在宅医療を提供する割合が高い。
- ⑤退院調整部門の設置割合が大幅に上昇したが、都平均に比べ低い。